

【地方創生支援】企業経営者と金融機関等との意見交換会の開催について
(京都財務事務所)

はじめに（開催趣旨）

金融庁・財務局においては、地域金融機関に対して、企業のライフステージ（発展段階）に応じた課題解決に向けた支援や、地方創生に向けた取組みによる地域の活性化を促しているところです。

また、企業経営者においても、それぞれのライフステージや業種に応じた経営課題、悩みごとのほか、地域の現状を踏まえた活性化等についても様々なご意見を持っておられることと思います。

こうした点を踏まえ、本意見交換会は、当局のネットワークを活用し、企業経営者、経済団体、金融機関等に参加を求め、企業の抱える経営課題等に対して、金融機関等から有益な情報の提供や支援についての説明をいただいた上で、双方向の議論の場を提供することを目的として、京都府綾部市において開催しました。

議事要旨については、別添のとおりです。

1. 日 時

平成 29 年 12 月 4 日（月）16 時 00 分～17 時 30 分

2. 場 所

綾部商工会議所 会議室

3. 参加者

（企業経営者）綾部市内の企業経営者等（4 社）

（金融機関等）日本政策金融公庫、京都銀行、京都北都信用金庫、京都信用保証協会

（経済団体）綾部商工会議所

（地方自治体）綾部市

（財 務 局）近畿財務局

4. 議事次第

(1) 開会挨拶

(2) 企業経営者、経済団体からの発言（企業のライフステージや業種に応じた経営課題、地域の活性化に向けた取組み など）

(3) 意見交換（フリーディスカッション）

(4) 地方自治体からの発言

(5) まとめ・閉会挨拶

5. 主な意見等

➤ 企業経営者からは、ライフステージや業種に応じた経営課題等について、以下の発言があった。

○ 社屋等が老朽化しており、また、設備も少しずつ新しくしたいと思っているため、いつ改修・設備更新するのか、どのように資金手当てをするのかが課題。

○ 機械加工を行う熟練した技術者・職人が必要であるとともに、単純な工程の人手・人数が必要という両極端の状況。その両方において人手不足となっている。また、若年労働者や職人の確保・育成について、優秀な人材を囲い込むために、ある程度極端な給与体系に変化して

いく必要があると感じている。

- 顧客の9割以上が女性であり、顧客層を鑑み、接客を行う女性を2名雇用している。20~30代の女性従業員は、結婚・出産を機に退職してしまう場合があり、母親世代となると土日働くことができない場合もあり、店舗の営業日と折り合いがつかない状況となるなどの課題がある。
- 専門資格が必要なスタッフが不足しており、特に、地方においては給料が高くないと来てもらえない状況。

➤ 経済団体からは、地域の課題及び活性化策等について、以下の発言があった。

- 田舎暮らしを求めて都会から移住してくる方が増えてきた。平成20~25年で117世帯の移住実績を挙げ、全国第3位となっている。
- 観光については、来てもらえるまちづくりをテーマに、あやべ特産館で地産地消品の売上を拡大することにより、綾部全体の消費を盛り上げたい。また、京都市に観光に来られた方に綾部市にも立ち寄っていただき、オール京都で観光を盛り上げていただきたい。

➤ 金融機関等からは、地域の活性化に向けた取組み等について、以下の情報提供があった。

- 人材確保については、京都ジョブパーク、産業雇用安定センター、京都産業21等の関係機関を紹介するなど、単にお金を融資するだけでなく、色々な情報を顧客に提供し、顧客の成長を支援したいので、経営課題でお悩みの際はお気軽にご相談いただきたい。
- 設備投資については、ものづくり補助金の申請支援に力を入れており、職員が企業と一緒に申請をお手伝いしている。商工会議所や市とも連携しながら、補助金活用へのムードを高めていきたい。
- 事業承継も大きな課題であり、京都府事業引継ぎ支援センターと連携しながら、毎月個別相談会を行っている。
- 地域の活性化については、企業を存続させていくこと、新たな企業を創出させていくことが課題。保証業務を行うだけでなく、企業のライフステージに応じて、再生支援、外部専門家派遣事業、認定支援機関を活用した経営改善計画策定支援事業、創業支援、経営力向上計画策定支援、事業承継支援を実施しているので、困ったことがあれば窓口に相談いただきたい。

- 地方自治体からは、地方創生に向けた取組み等について、以下の発言があった。
 - 本日の共通する課題である人材確保については、どの業種でも厳しく、また専門的な職種の人材不足も深刻である。大阪や京都市などの大都市に向けた情報発信に努めており、都市部での就職フェアを行うなど、求人と求職者のマッチング機会の確保に取り組んでいる。

また、来年度オープンする京都府の施設である北部産業創造センターにおいて、当市の機能としては人材育成の部分を強化し、社会人教育、各分野で必要とされる専門人材の育成などに取り組んでいきたい。
 - 商店街の活性化については、商工会議所とも頻繁に意見交換しながら、何とか手を打っていきたい。

(以上)

意見交換会のイメージ図

